滋賀県がん診療連携協議会 議事結果報告書

会 議 名	令和5年度 滋賀県がん診療連携	協議会	がん登録	禄推進部会	
開催期間	令和5年7月24日(月)~7月28日	(金)			
開催方法	電子メールによる意見交換				
委 員	【委員】				
	滋賀県立総合病院	山本	秀和	(部会長)	
	滋賀医科大学医学部附属病院	稲富	理		
	滋賀医科大学医学部附属病院	入山	侑香		
	大津赤十字病院	石戸名	5 哲		
	大津赤十字病院	森	明子		
	公立甲賀病院	太田	裕之		
	公立甲賀病院	中嶋	康人		
	彦根市立病院	龍見	謙太郎		
	彦根市立病院	志井	千明		
	市立長浜病院	上田	修吾		
	市立長浜病院	神部	百合子		
	高島市民病院	武田	佳久		
	高島市民病院	大橋	信也		
	市立大津市民病院		啓彰		
	市立大津市民病院	寺田	貴子		
	淡海医療センター	伊藤	良治		
	淡海医療センター	福山	歩美		
	済生会滋賀県病院	片山	政伸		
	済生会滋賀県病院	土屋	明子		
	近江八幡市立総合医療センター	門谷	弥生		
	近江八幡市立総合医療センター	大西	真		
	長浜赤十字病院	丹後	泰久		
	長浜赤十字病院	廣部	有香		
	東近江総合医療センター	山口	岡川		
	東近江総合医療センター	太田	悦子		
	滋賀県がん患者団体連絡協議会	柳田	英代		
	滋賀県健康医療福祉部	田村	奈那子		
	滋賀県立総合病院	野間	幸夫		
	【事務局】				
	滋賀県立総合病院	柳	香里		
	滋賀県立総合病院	米澤	寿裕		
					 (敬称略)
議事概要	1. 新委員紹介				

【審議事項】

2. 令和5年度事業計画 (アクションプラン) について

アクションプランの目標は「がん登録実務のスキルアップおよびがん登録の標準化と精度向上の推進」で、実施する施策は6年計画のため前年度と同じである。年間スケジュールは部会2回、研修会2回計画。第1回はメールにて意見交換、第2回目はZ00Mでの開催予定。研修会は集合研修を予定しているが、新型コロナウイルス感染症の状況を確認し、変更または中止になる可能性もある。

2022年全国集計提出前チェックおよび提出後収集について、全国集計の提出期間(拠点)7月3日~8月4日、(支援)8月14日~9月15日。全国集計を国立がん研究センターへ提出時に全国がん登録の届け出も同時にできるようになっている。(例年と同様)相互チェックの日程は、データ配布6月15日、相互チェック後データ収集は6月23日、まとめを9月22日の実務者研修会で行う予定。

3. 今年度のPDCAについて

今年度のテーマは引き続き「がん登録情報の利活用」とする。プランは「がん登録情報 の活用事例数」とし、それに向けて情報活用のための統計研修会の計画、また各施設の 統計についてアンケートも行い部会での報告を予定している。

【報告事項】

4. 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会がん登録部会報告

院内がん登録全国集計データ二次利用について、国立がん研究センターが全国の施設から収集したデータを提供することの法的に問題について、厚生科学審議会がん登録部会の承認あり。問題はないとのこと。

院内がん登録の活用においてもオプトアウト管理が必要である。国立がん研究センターより院内掲示用ポスターのひな形、説明文ひな形の提供済。二次利用に関する全体的なものは国立がん研究センター、患者さんからのオプトアウト申出は各施設が問合せ先となる。

患者体験調査は今回で3回目となる。施設にお願いすることは「対象者の選定」「決定した対象者の宛名情報の提供」「倫理審査は国立がん研究センターで審査」である。スケジュールは5月施設へ協力依頼、国立がん研究センターにおける倫理審査、7月倫理審査承認後、対象者の抽出・発送へ向けた準備、9月~11月質問紙の発送・回収(発送はNCCで契約した業者が行う)、12月~2月集計・報告。

5. 2021年症例の集計結果

2021年診断全国集計提出データにて作成した。施設別集計で各部位の登録数の推移は10 部位のうち8部位はわずかに増加傾向だった。症例区分内訳ではほとんどの部位で初回 治療を行っている割合が80%ある結果となった。

以上のとおり報告します。

令和5年8月7日

滋賀県がん診療連携協議会 会長 様

がん登録推進部会 部会長 山本 秀和